

**Pioneer**

AV 一体型メモリーナビゲーション

# AVIC-MRZ80

## スタートブック

目次 ➡ 6 ページ

**carrozzeria**

はじめに

共通操作

ナビゲーション

オーディオ

スマートループ

付録

# 安全のために必ずお守りください

## 絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



**注意**

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

# 安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください)

## 警告

### 【使用方法】

#### 運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

#### 走行中にテレビやビデオを見ない



運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

### 【異常時の処置】

#### 故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

#### 異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

#### ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

## 注意

### 【使用方法】

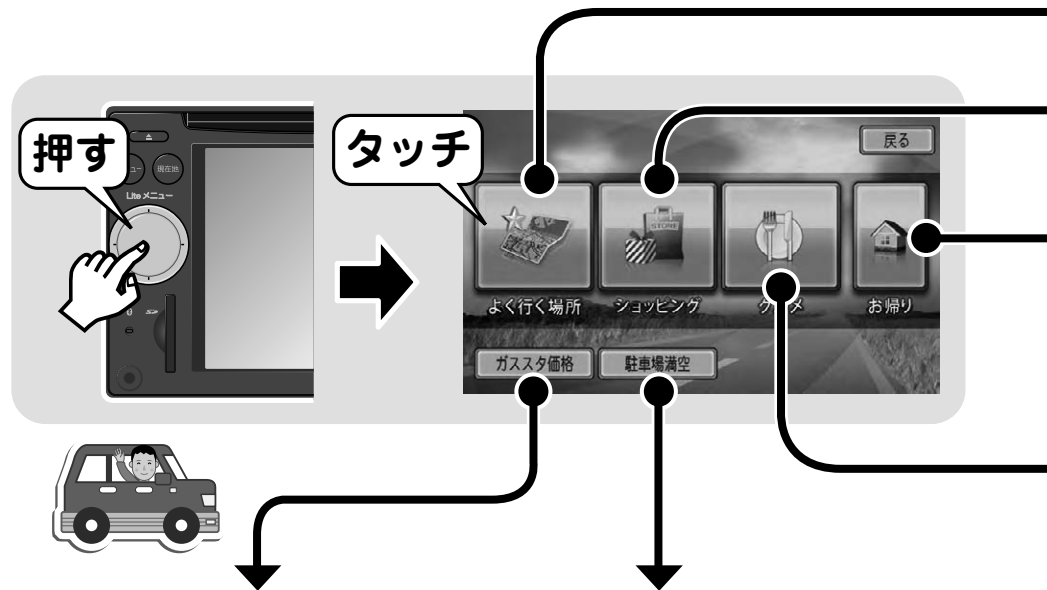
#### モニター部にヒーターの熱などを当てない



モニター部にエアコンのクーラーの冷気やヒーターの熱を当てないでください。そのままご使用になると故障や火傷の原因となることがあります。

# Liteメニューでらくらく操作!

Liteメニューを使えば、普段の生活に便利な機能がかんたん操作でお使いになれます。



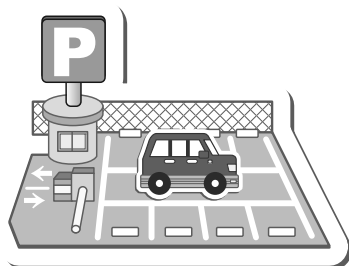
## ガソリン価格を事前にチェック!

通信機能を利用して、自分が今いる場所の近くのガソリン価格の安いスタンドをかんたんに探すことができます。(→P36)



## 空いてる駐車場をらくらく検索

通信機能を利用して、自分が今いる場所の近くの空いている駐車場をかんたんに探すことができます。(→P36)

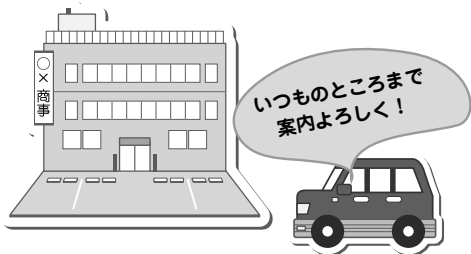


### メモ

・「ガスタ価格」、「駐車場満空」は、本機が通信可能な状態で無い場合は選ぶことができません。通信を行うには、通信接続設定を行う必要があります。通信接続設定や本機能に関して、詳しくは『ナビゲーション&オーディオブック』-「通信接続設定」/「Liteメニューを使う」をご覧ください。

## 普段よく行く場所までかんたんルート設定！

会社や取引先、学校や習い事教室などよく行く場所を、あらかじめ本機へ登録しておけば、いつでもかんたん操作で案内してくれます。(→P37)



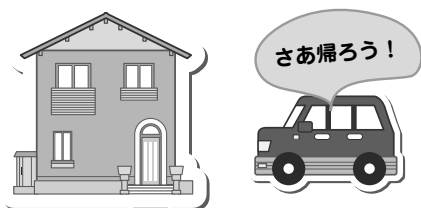
## 行きたいお店にかんたん操作で案内してくれます！

お買い物したいお店のジャンルを選ぶだけで、自分が今いる場所の近くにあるお店を探して案内してくれます。(→P37)



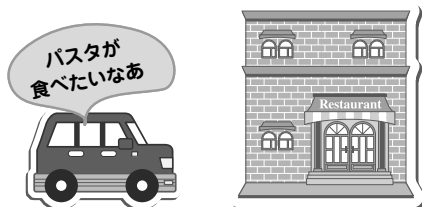
## 自宅への案内もかんたん！

あらかじめ本機に自宅を登録しておけば、全国どこからでもかんたん操作でご自宅まで案内してくれます。(→P38)



## 食べたい料理が決まったらあとはかんたん操作！

お腹が空いたら食べたい料理のジャンルを選ぶだけで、自分が今いる場所の近くにあるお店を探して案内してくれます。(→P37)



# 目次

## はじめに

お読みください.....	8
安全走行のために.....	8
本機の操作について.....	8
車のバッテリー上がりを防ぐために.....	8
車のバッテリーを外すときのご注意.....	8
液晶画面について.....	8
お客様登録のお願い.....	8
自車位置精度について.....	9
本機と接続可能な通信機器について.....	9
お客様の登録されたデータについて.....	9
著作権.....	9
バージョンアップについて.....	9
アフターサービス.....	9
その他.....	9

## テレビを見るための準備..... 10

## 共通操作

### ボタンやタッチキーの

名称とはたらき.....	12
ナビゲーションの電源について.....	13
オートアンテナの操作について.....	13
リセットについて.....	13

### メニューの使いかた..... 14

メインメニューの表示のしかた.....	14
設定・編集メニューについて.....	14
お出かけメニューについて.....	15
AVソースメニューについて.....	15
携帯電話メニューについて.....	16
メニューの流れ.....	17

### 音量調整のしかた..... 18

オーディオの音量調整のしかた.....	18
オーディオの音量を一時的に消す.....	18
ハンズフリー時の 音量調整のしかた.....	18
ナビゲーションの 音量調整のしかた.....	19

### 画面の明るさ調整のしかた..... 20

### 画面の消しかた (ナビスタンバイ)..... 21

### ディスクの使いかた..... 22

ディスクの入れかた.....	22
ディスクの取り出しかた.....	22

### SDメモリーカードの 使いかた..... 23

SDメモリーカードの入れかた.....	23
SDメモリーカードの 取り出しかた.....	23

### USBメモリーの使いかた..... 24

USBメモリーの接続のしかた.....	24
USBメモリーの取り外しかた.....	24

### 携帯電話の使いかた..... 25

電話のかけかた.....	25
電話の受けかた.....	25

## ナビゲーション

### ナビゲーションのおもな操作... 26

現在地画面の表示のしかた.....	26
地図の動かしかた.....	26
地図の向きや 表示方法の変えかた.....	27
地図スケール(縮尺)の 変えかた.....	28
ショートカットメニューの 表示のしかた.....	28
渋滞情報の利用のしかた.....	29
自宅の登録のしかた.....	30
地図画面の見かた.....	31
現在地画面の見かた.....	31
スクロール画面の見かた.....	32

有料道路走行中画面の見かた.....	32
ルート案内中画面の見かた.....	33
<b>お出かけメニューの使いかた...34</b>	
<b>Liteメニューの使いかた.....36</b>	
Liteメニューの表示のしかた.....	36
「よく行く場所」の使いかた.....	37
「ショッピング」、「グルメ」の 使いかた.....	37
「お帰り」の使いかた.....	38

## オーディオ

<b>オーディオのおもな操作.....39</b>	
AV ソース画面の表示のしかた.....	39
AV ソースの選びかた.....	39
メインメニューから操作する場合.....	39
AV ソース画面から操作する場合.....	40
AV ソースの OFF のしかた.....	40
ロータリーボリューム& セレクトターの使いかた.....	41
操作タッチキーの表示のしかた.....	42
ファンクションメニューの 使いかた.....	42
音質設定のしかた.....	43

## スマートループ

<b>スマートループの 利用のしかた.....44</b>	
スマートループについて.....	44
スマートループを利用するには.....	45
通信接続設定のしかた.....	45
機能設定のしかた.....	48
初期登録のしかた.....	49
スマートループ情報の取得のしかた....	50

## 付録

<b>取り扱い上のご注意.....51</b>	
液晶画面の正しい使いかた.....	51
取り扱い上のご注意.....	51
液晶画面について.....	51
LED バックライトについて.....	51
お手入れについて.....	51
ディスクの正しい使いかた.....	52
取り扱い上のご注意.....	52
お手入れについて.....	52
保管上のご注意.....	52
ディスク再生の環境について.....	52
SDカードの正しい使いかた.....	53
取り扱い上のご注意.....	53
データの保護について.....	53
USB 機器に関するご注意.....	53
取り扱い上のご注意.....	53
接続上のご注意.....	53
iPod に関するご注意.....	53
取り扱い上のご注意.....	53
著作権について.....	53
電波に関するご注意.....	54
<b>故障かな?と思ったら.....55</b>	
電源が入らない、動作しない.....	55
自転車マークがずれる.....	55
映像が出ない.....	55
オーディオの音が出ない.....	55
ナビのガイド音声を調整できない.....	56
液晶画面が暗い・見にくい.....	56
<b>保証書とアフターサービス.....56</b>	
保証書.....	57
保証期間.....	57
保証期間中の修理について.....	57
保証期間経過後の修理について.....	57
補修用性能部品の最低保有期間.....	57
ご質問、ご相談は.....	57
<b>仕様.....58</b>	
<b>商標・著作権等.....60</b>	

# お読みください

## 安全走行のために

- 走行中に運転者がナビゲーションの操作をすると画面に気を取られたり、操作に迷ったりし、思わぬ重大な事故を招く恐れがあり大変危険です。運転者がナビゲーションの操作をする場合は、必ず車を安全な場所に停車してから行ってください。
- 運転中の本機の音声は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 本機には交通規制データが収録されていますが、交通規制の変更等により、実際の標識や交通規制と異なる場合があります。ナビゲーションによるルート案内や右左折などの音声案内時でも、必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。交通事故や道路交通法違反となることがあります。
- 緊急施設（病院、消防署、警察署など）の検索やルート案内については、本機に依存せず、各施設に直接ご確認ください。
- 本機は、パーキングブレーキのON/OFFを検知して、走行中にテレビやビデオなどの映像を見ることができないようになっています。また、走行中はナビゲーションやオーディオの一部のメニュー操作や地図の連続スクロールができません。安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

## 本機の操作について

本機は、タッチパネルと本体のボタンで操作します。リモコンは付属しておりません。また、別売のリモコンもございません。

## 車のバッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンをかけていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

### メモ

- 環境保護のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

## 車のバッテリーを外すときのご注意

点検などで車のバッテリーを外すと、次の内容が工場出荷時に戻ります。必要な情報は事前に控えておいてください。

- 明るさ調整
- AV 設定の設定内容
- ラジオ、交通情報などのプリセット内容
- 各ソースの再生モード
- ラスト再生ポジション など

## 液晶画面について

- 液晶画面は、構造上きれいに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、液晶画面の明るさをお好みに応じて調整してください。→「画面の明るさ調整のしかた」(P20)
- この製品で使用している液晶画面は、非常に高度な技術で作られています。一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

## お客様登録のお願い

ご登録いただいた商品の安全に関する重要なお知らせをご案内する場合がありますので、下記のいずれかの方法にてご登録手続きをお願いいたします。なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。

### ■ インターネットによるご登録

パソコンで下記 URL にアクセスしてください。  
<http://pioneer.jp/support/members/>

### ■ 登録ハガキによるご登録

インターネット接続環境をご利用いただけない場合は、同梱の登録ハガキに必要事項を記入のうえ、同封の目隠しシールをお貼りいただき、ポストに投函してください。

### メモ

- 登録ハガキによるご登録の場合は、スマートループがご利用いただけません。ご利用になる場合は、インターネット接続環境をご準備の上、インターネットによるご登録をお願いいたします。



## 自車位置精度について

本機が GPS 衛星からの電波を受信できていない状態で走行を開始すると、自車位置がずれるなどの症状が発生する場合があります。GPS 衛星の電波が受信できているかどうかは、方位マークの色 (→ P13) や GPS 情報画面 (→ 『ナビゲーション&オーディオブック』) で確認することができます。

## 本機と接続可能な通信機器について

本機に接続可能な通信機器は、Bluetooth に対応した携帯電話のみです。本機と携帯電話を Bluetooth 接続することで、電話機能や通信機能をお使いいただけます。別売の携帯電話接続ケーブルを使つての接続には対応していませんのでご注意ください。

携帯電話接続情報については、以下のサイトから確認できます。

### ■ 携帯電話から

<http://pioneer.jp/carnavi-keitai/>



※機種によって読み込みできない場合があります。

※QRコードの読み取りは、本機と接続予定の携帯電話で行ってください。

### ■ パソコンから

<http://pioneer.jp/car/keitai-check/>

## お客様の登録されたデータについて

- 本機の地図データ更新および修理において、お客様が登録したデータの保証については、ご容赦ください。
- ナビゲーションに登録されたメモリダイヤル・各種機能設定などの内容は、事故や故障・修理その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 著作権

- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画すると、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できない場合があります。また、著作権保護の機能により、ビデオデッキ

を介してモニター出力した場合には、再生目的でも画質が劣化することがあります。これらは機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴するときは、地上デジタルTVチューナーとナビゲーション本体を直接接続してお楽しみください。

- 本機に収録されたデータおよびプログラムの著作権は、弊社および弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータおよびプログラムの全部または一部を複製、改変、解析等することはできません。

## バージョンアップについて

バージョンアップの詳細については、弊社ホームページにてご案内する予定です。また、購入後に登録手続きをしていただいたお客様に対してもご案内させていただく予定です (ご案内の送付に同意いただいた方のみ)。インターネットからのご登録をお願いいたします。

## アフターサービス

- 弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは「お客様登録カード」をご返送またはインターネットからご登録いただいたお客様にいたしますので、必ず登録をしていただきますようお願いいたします。
- 本製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店を窓口として実施しておりますが、移動先や引っ越し等により、お買い上げ販売店に修理が依頼できない場合には、修理受付センター (沖縄県のみ、沖縄サービスステーション) へご相談ください。

## その他

- 弊社は、本機がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。
- 実際の本機の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書で使っている画面例は、実際の画面と異なる場合があります。

# テレビを見るための準備

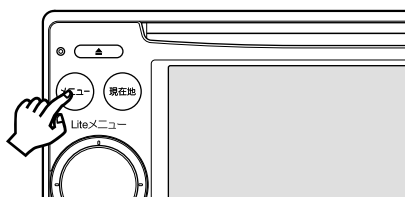
本機をご購入後、はじめてテレビをご覧になるときは、受信可能なチャンネルを探して本機に登録する作業（チャンネルスキャン）が必要です。チャンネルスキャンが完了するまでは、テレビをご覧いただくことはできません。

## メモ

- 本書では、本機内蔵のワンセグを例に説明しますが、別売の地上デジタルTVチューナーを本機に接続した場合も同様に、チャンネルスキャンが必要です。別売の地上デジタルTVチューナーを接続した場合のチャンネルスキャン操作について、詳しくは『ナビゲーション&オーディオブック』-「ワンセグ、地デジを見る」-「地デジを見る」をご覧ください。
- チャンネルスキャンが終了するまでは、**スキャン**以外のタッチキーは操作できません。
- チャンネルスキャンは、ワンセグ放送の電波を受信しやすい場所で行ってください。（地下駐車場などでは電波を受信しない場合があります。）
- 車のバッテリーを外したときや、設定初期化（→『ナビゲーション&オーディオブック』-「設定や調整をする」）したときにもチャンネルスキャンが必要です。
- ワンセグを視聴中に、AVソース画面から地図画面やその他の画面に切り換えると、AVソースは一時的に停止状態となりますが、故障ではありません。

## 1 車のエンジンをかける

## 2 地図画面が表示されたら メニューを押す



メインメニューが表示されます。

## 3 AVにタッチする



AVソースメニューが表示されます。

## 4 ワンセグにタッチする



## 5 画面にタッチして操作 タッチキーを表示する



▼  
チャンネルスキャンが終了すると、ワンセグ画面が表示されます。

ワンセグの終了のしかたは P40「AVソースのOFFのしかた」をご覧ください。  
地図画面への戻りかたは P26「現在地画面の表示のしかた」をご覧ください。

はじめに

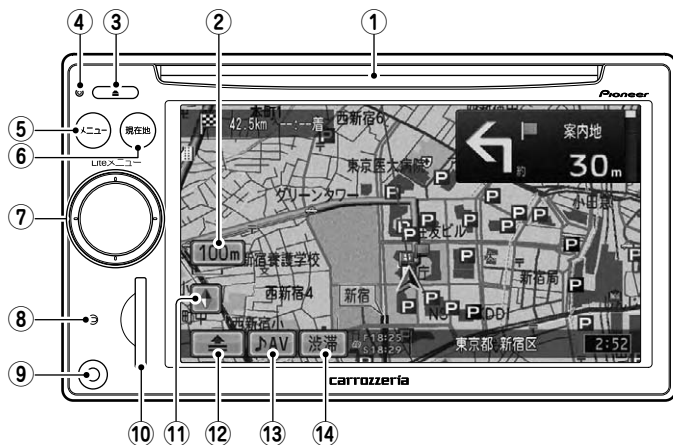
## 6 スキャンに長くタッチする



「スキャン中 ○○%」と表示されるまでタッチしてください。



# ボタンやタッチキーの名称とはたらき



共通操作

## ① ディスク挿入口

DVD や CD などを挿入します。(→ P22)

## ② スケールタッチキー

現在の地図表示スケールを示します。タッチすると、地図のスケール(縮尺)を変えることができます。(→ P28)

## ③ イジェクトボタン

ディスクの出し入れを行います。(→ P22)  
長く押しすと、DVD ビデオのブックマーク機能を使うことができます。(→ 『ナビゲーション&オーディオブック』 - 「DVD ビデオ、DVD-VR、DivX を見る」)

## ④ リセットボタン

本機のマイコンをリセットします。(→ P13)

## ⑤ ボタン

メインメニューを表示します。(→ P14)  
長く押しすと、タッチパネル調整画面を表示します。(→ 『ナビゲーション&オーディオブック』 - 「設定や調整をする」)

## ⑥ ボタン

地図上に自分の車の位置を表示します。(→ P26)  
また、AV ソース画面からナビゲーション画面に切り換えます。(→ P39)  
長く押しすと、オートアンテナの ON (上げる) / OFF (下げる) を切り換えます。(→ P13)

## ⑦ ローターボリューム&セレクター

左右に回すと、オーディオの音量が調整できます。(→ P18)

上下左右に倒すと、早送り/早戻しなどのオーディオ操作ができます。(→ P41)  
中央を押すと、Liteメニューを表示します。(→ P36)

また、長く押しすと、オーディオの音量を一時的に消すことができます。(→ P18)

## ⑧ 通信インジケーター

Bluetooth の通信状態を表示します。本機と Bluetooth 機器が接続されると白色で点灯します。サーバーとの通信中は白色が点滅します。

## ⑨ AV 入力端子 (3.5mm 4 極ミニジャック)

別売の AV 入力用変換ケーブル「CD-VRM200」を使って、ポータブルビデオなどの外部映像機器を接続することができます。詳しくは、弊社ホームページやカタログをご覧ください。

## メモ

・外部オーディオ機器の接続には、市販の 3.5mm ステレオミニプラグをお使いください。

## ⑩ SD メモリーカードスロット

市販の SD (Secure Digital) メモリーカードを挿入します。(→ P23)

### ⑪ 方位マークタッチキー

赤い三角が北を示します。タッチすると、地図の向きや表示方法を変えることができます。(→P27)

また、三角形の色で GPS 衛星の受信状態を表現しています。

赤：3次元測位

黄：2次元測位

灰：未測位

詳しくは、『ナビゲーション&オーディオブック』-「各種情報を表示する」をご覧ください。

### ⑫ ショートカットメニュータッチキー

ルート探索や場所の登録など、ナビのよく使う機能をまとめたショートカットメニューを表示させることができます。(→P28)

### ⑬ AV タッチキー

ナビゲーション画面から AV ソース画面に切り換えます。(→P39)

### ⑭ 渋滞タッチキー

渋滞情報メニューを表示し、VICS 情報を文字や図形で確認することができます。(→P29)

長く押しすと、通信機能を使って渋滞情報を取得することができます。(→P50)

#### メモ

- 通信機能を使って渋滞情報を取得するには、あらかじめ通信接続設定を行う必要があります。→「スマートループの利用のしかた」(P44)

## ナビゲーションの電源について

本機の電源は、車のエンジンスイッチを ACC または ON にすると自動的に入り、エンジンスイッチを OFF にすると電源が切れます。ナビゲーションの電源スイッチはありません。

#### メモ

- 一時的に画面を消すことはできます。→「画面の消しかた(ナビスタンバイ)」(P21)

## オートアンテナの操作について

本機を工場出荷時の状態のままオートアンテナ車に取り付けた場合は、車の ACC 電源 ON (エンジンをかける) に連動してオートアンテナが上がります。屋内ではご注意ください。

#### メモ

- オートアンテナの ON/OFF は、操作音で判断します。
  - ON → OFF：音の低い操作音が鳴ります。
  - OFF → ON：音の高い操作音が鳴ります。
- オートアンテナ車で立体駐車場などでアンテナを強制的に下げる場合以外は、常にオートアンテナ ON の状態でお使いください(→P12)。OFF の状態のままでは、ラジオ/VICS/FM 多重放送が受信できなくなる場合があります。

## リセットについて

次のようなときは、リセットボタンを押して本機をリセットしてください。

- 本機を車に取り付けた直後
- 正しく動作しないとき
- 画面が正しく表示されないとき

リセットボタン



また、本機をリセットすると、次の内容が工場出荷時に戻ります。必要な情報は事前に控えておいてください。

- AV 設定の設定内容
  - ラジオ、交通情報などのプリセット内容
  - 各 AV ソースの再生モード
- など

#### メモ

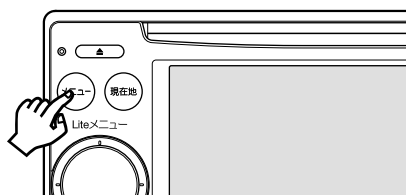
- 本機のリセットボタンを押しても、登録した場所、ルート、ワンセグのチャンネルスキャン結果などの内容は消去されません。
- リセットボタンを押したあとやバッテリーを外したあとなどに、いったん電源が OFF/ON することがありますが、故障ではありません。

# メニューの使いかた

本機のいろいろな機能を使うには、各種メニュー画面を表示して操作します。どのメニューを使う場合も、はじめにメインメニューを表示します。

## メインメニューの表示のしかた

### 1 を押す



▼  
メインメニューが表示されます。



<b>設定・編集</b>	ナビゲーションやオーディオに関するいろいろな設定・調整、各種編集などを行うことができます。
<b>お出かけ</b>	いろいろな方法で目的地や場所を探すことができます。
<b>AV</b>	AV ソース（CD やラジオなど）を選ぶことができます。
<b>携帯電話</b>	発着信履歴やメモリアルなどの電話機能を使うことができます。
<b>AV ソース OFF</b>	AV ソースを OFF にできます。

## 設定・編集メニューについて



<b>ナビ設定</b>	ナビゲーションの機能設定や音量調整、ロゴマークの表示設定などができます。
<b>AV 設定</b>	オーディオの音質などを設定できます。
<b>システム設定</b>	画面の明るさやハードボタンのイルミネーション色などを設定できます。
<b>通信接続設定</b>	本機と携帯電話の接続設定などができます。
<b>ナビデータ編集</b>	ルートや登録した場所などの編集・消去などができます。
<b>各種情報</b>	本機に関する各種情報を表示できます。

## お出かけメニューについて



<b>名称</b>	行きたい場所、探したい場所の名称やその一部を入力して探せます。
<b>住所</b>	行きたい場所、探したい場所の住所を指定して探せます。
<b>ジャンル</b>	行きたい場所、探したい場所のジャンルを指定して探せます。
<b>周辺施設</b>	現在地またはスクロール先の周辺から施設を探せます。
<b>電話番号</b>	行きたい場所、探したい場所の電話番号を入力して探せます。
<b>登録した場所</b>	あらかじめ本機に登録しておいた場所の一覧から探せます。
<b>最近探した場所</b>	これまでに探した場所の一覧から探せます。
<b>マップコード</b>	市販の情報誌などに掲載されているマップコードを入力して探せます。
<b>自宅</b>	自宅の場所を本機に登録しておく、かんたんな操作で自宅までルート探索できます。
<b>ルート消去</b>	案内中のルートを消去できます。

## AV ソースメニューについて

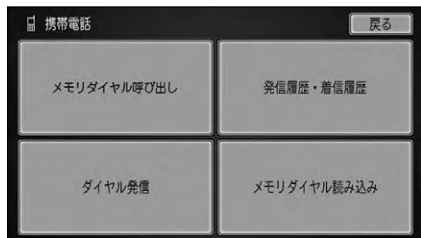


<b>DISC</b>	CD や ROM、DVD など再生できます。
<b>FM</b>	FM ラジオ放送を受信できます。
<b>AM</b>	AM ラジオ放送を受信できます。
<b>ワンセグ</b>	ワンセグ放送を視聴できます。
<b>iPod / USB</b>	本機の USB ケーブルに接続された iPod または USB メモリーが使えます。USB ケーブルに接続された機器に応じて表示される名称が変わります。
<b>SD</b>	SD メモリーカードに保存された音楽ファイルや動画ファイルを再生できます。
<b>地上デジタル TV</b>	本機に接続された地上デジタル TV チューナーが使えます。
<b>交通情報</b>	交通情報を受信できます。
<b>AV1</b>	本機背面の RCA 入出力ケーブルに接続された外部機器が使えます。
<b>AV2</b>	本機前面の AV 入力端子に接続された外部機器が使えます。
<b>EXT1、EXT2</b>	本機に接続された地上デジタル TV チューナー以外の IP-BUS 機器（エクスターナルユニット）が使えます。
<b>AVソースOFF</b>	AV ソースを OFF にできます。

### メモ

- iPod、AV1/2、EXT1/2（映像ソースの場合）をお使いになるには、AV 設定が必要です。詳しくは「ナビゲーション&オーディオブック」-「設定や調整をする」-「AV 設定」をご覧ください。

## 携帯電話メニューについて



<b>メモリダイヤル呼び出し</b>	あらかじめ本機に読み込んだ携帯電話のメモリダイヤルを呼び出して使えます。
<b>発信履歴・着信履歴</b>	発信履歴、着信履歴の一覧を表示します。また、一覧から電話をかける相手を選べます。
<b>ダイヤル発信</b>	本機の電話番号入力画面で相手先の電話番号を入力して、電話をかけられます。
<b>メモリダイヤル読み込み</b>	携帯電話側のメモリダイヤルデータを本機に読み込みます。



### メモ

- メモリダイヤル、発信履歴・着信履歴は、本機に登録された携帯電話ごとに保存されます。本機と接続する携帯電話を切り換えると、表示されるメモリダイヤル、発信履歴・着信履歴の内容も切り換わります。詳しくは『ナビゲーション&オーディオブック』-「設定や調整をする」-「通信接続設定」をご覧ください。



## メニューの流れ

- メインメニュー
- お出かけ
    - 名称、住所、ジャンル、周辺施設、電話番号、登録した場所、最近探した場所、マップコード、自宅、ルート消去
  - AV
    - DISC、FM、AM、ワンセグ、iPod/USB、SD、地上デジタルTV、交通情報、AV1、AV2、EXT1、EXT2、AVソースOFF
  - 携帯電話
    - メモリダイヤル呼び出し、発信履歴・着信履歴、ダイヤル発信、メモリダイヤル読み込み
  - 設定・編集
    - ナビ設定
      - 機能設定、ナビ音量調整、車両情報設定、ロゴマーク表示設定、設定初期化
    - 通信接続設定
      - 携帯電話登録、携帯電話接続、詳細設定、接続先設定
    - 各種情報
      - GPS 情報、接続状態表示、バージョン情報
    - ナビデータ編集
      - 編集、消去
    - AV 設定
      - フェーダー/バランス設定、イコライザー設定、ラウドネス設定、サブウーファー設定、ハイパスフィルター設定、ソースレベルアジャスター設定、バスブースター、その他設定
    - システム設定
      - バックカメラ、タッチパネル調整、明るさ調整、イルミネーションカラー設定、ナビスタンバイ



### メモ

- それぞれのメニューについて、詳しくは『ナビゲーション&オーディオブック』をご覧ください。

# 音量調整のしかた

## 注意

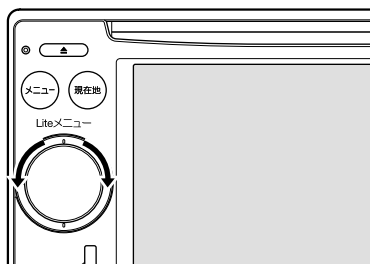
- 車外の音が聞こえにくいと、交通事故の原因となります。安全運転をさまたげないように適度な音量でお使いください。

## メモ

- ナビゲーションの案内音声が出力中の場合、音量の調整ができないことがあります。案内音声が出力されていない状態のときに操作してください。
- AV ソースごとの音量の差を調整することもできます。詳しくは『ナビゲーション&オーディオブック』-「設定や調整をする」をご覧ください。

## オーディオの音量調整のしかた

### 1 ロータリーボリューム&セレクターを回す



- |      |             |
|------|-------------|
| 右に回す | 音量が大きくなります。 |
| 左に回す | 音量が小さくなります。 |

## メモ

- AV ソースが「ワンセグ」、[SD]、[USB] の場合、オーディオの音量調整を行うとナビゲーションの案内音声と操作音も同時に変化します。これは本機の仕様で、故障ではありません。

## オーディオの音量を一時的に消す

### 1 ロータリーボリューム&セレクターを長く押す

- 一時的に音量が消えます。  
もう一度長く押すと、音量が元に戻ります。

## ハンズフリー時の音量調整のしかた

### 1 着信中画面または通話中画面で / にタッチする

例：通話中画面



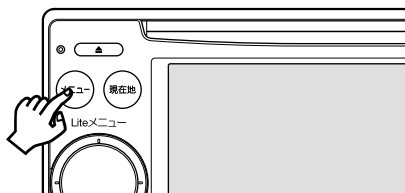
- |  |              |
|--|--------------|
|  | 通話音量を大きくします。 |
|  | 通話音量を小さくします。 |

## メモ

- 通話中画面では、 にタッチすると一時的に通話音を消すことができます。

## ナビゲーションの音量調整のしかた

1 を押す



2 **設定・編集** にタッチする



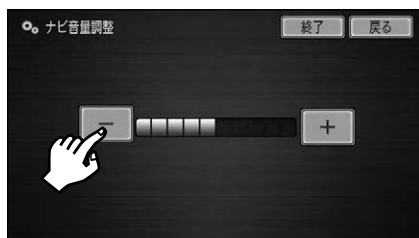
3 **ナビ設定** にタッチする



4 **ナビ音量調整** にタッチする



5 **+ または -** にタッチする

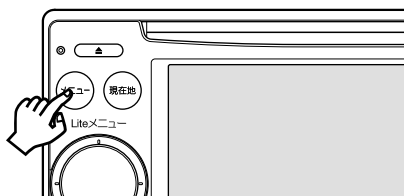


- +** ナビゲーションの案内音声と操作音の音量が大きくなります。
- ナビゲーションの案内音声と操作音の音量が小さくなります。

# 画面の明るさ調整のしかた

画面の明るさを調整して記憶させることができます。

## 1 を押す



## 2 **設定・編集** にタッチする



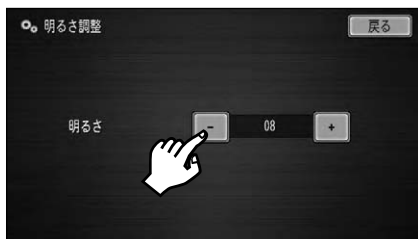
## 3 **システム設定** にタッチする



## 4 **明るさ調整** にタッチする



## 5 **+** または **-** にタッチする



- +** 液晶画面が明るくなります。
- 液晶画面が暗くなります。

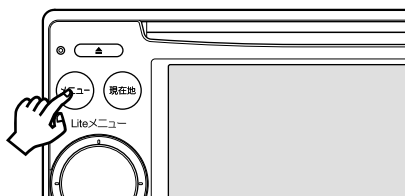
### メモ

- **+** または **-** にタッチし続けると、連続して明るさを変更することができます。

# 画面の消しかた（ナビスタンバイ）

本機の画面がまぶしい場合など、一時的に画面を消す（黒い画面にする）ことができます。

## 1 を押す



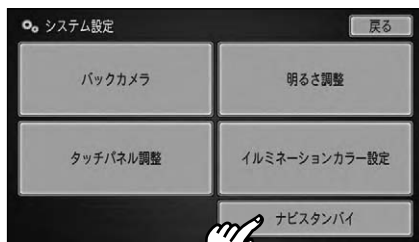
## 2 **設定・編集** にタッチする



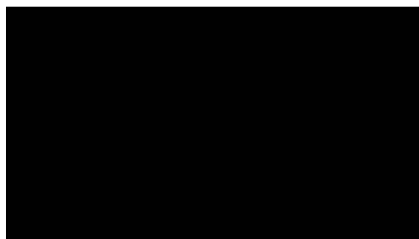
## 3 **システム設定** にタッチする




## 4 **ナビスタンバイ** にタッチする



画面が一時的に消えます。



### メモ

- ナビスタンバイ中も、AVソースの音声やナビゲーションのガイド音声は出力されます。
- もう一度画面にタッチするか  を押すと、ナビスタンバイを解除します。

# ディスクの使いかた

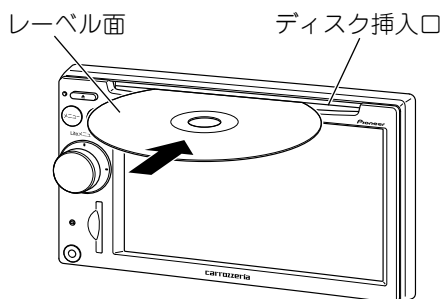
本機は、CD や DVD などのディスクを再生できます。以下のようにしてご利用ください。

## 注意

- ・8cmディスクには対応していません。また、アダプターを装着した8cmディスクも絶対に使用しないでください。

## ディスクの入れかた

### 1 ディスク挿入口にディスクを差し込む



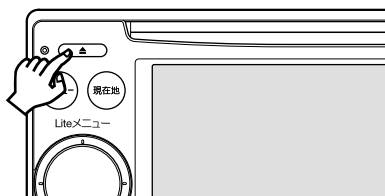
▼  
ディスクは途中まで差し込むと自動的に引き込まれます。

### メモ

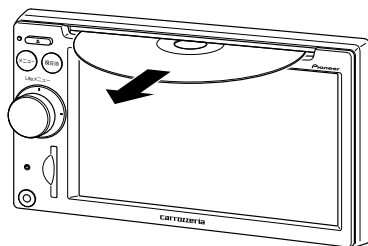
- ・CD や DVD を本機に挿入すると、自動的にAV ソースが「DISC」になり、CD または DVD が再生されます。

## ディスクの取り出しかた

### 1 イジェクトボタンを押す



▼  
ディスクが自動的に押し出されます。



### メモ

- ・ディスクが途中まで押し出された状態でもう一度イジェクトボタンを押すと、ディスクは自動的に引き込まれます。

## 2 ディスクを取り出す

# SD メモリーカードの使いかた

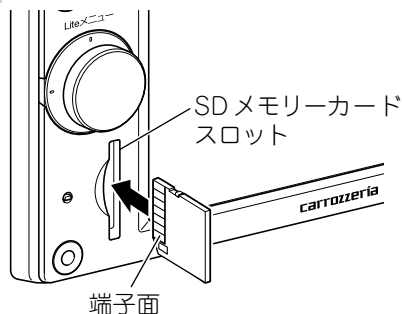
本機は、SD メモリーカード内の音楽ファイルや映像ファイルを再生できます。以下のようにご利用ください。

## メモ

- SD メモリーカード内の映像ファイルを再生中に、AV ソース画面から地図画面やその他の画面に切り換えると、AV ソースは一時的に停止状態となりますが、故障ではありません。
- 本機と組み合わせて使用しているときに SD メモリーカードのデータが消失しても、消失したデータの保障についてはご容赦ください。

## SD メモリーカードの入れかた

### 1 SD メモリーカードスロットに SD メモリーカードを“カチッ”と音がするまで差し込む



## 注意

- SD メモリーカードを無理に入れると、本機や SD メモリーカードが破損する恐れがあります。ご注意ください。
- SD メモリーカードの挿入口には、SD メモリーカード以外のものを挿入しないでください。コインなどの金属物を挿入した場合、内部回路が破損し故障の原因となります。

## メモ

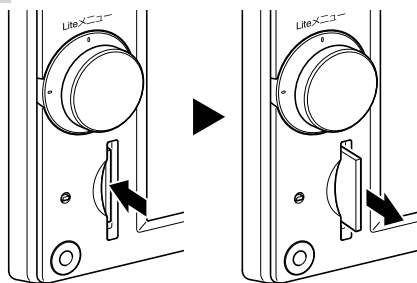
- 音楽データや映像データが保存された SD メモリーカードを本機に挿入すると、自動的に AV ソースが「SD」になり、音楽データまたは映像データが再生されます。
- 本機はすべての SD メモリーカードの動作を保証するものではありません。
- miniSD™ メモリーカード、microSD™ メモリーカードには、市販されている専用のアダプターが必要となります。

## SD メモリーカードの取り出しかた

## 注意

- 必ず AV ソースを OFF (→ P40) にしてから SD メモリーカードの取り外しを行ってください。SD メモリーカードに保存したデータが損傷することがあります。

### 1 SD メモリーカードを“カチッ”と音がするまで押し込んで離す



### 2 SD メモリーカードをまっすぐ引き抜く

## メモ

- 取り出した SD メモリーカードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様や飲み込むなどのことが無いように、保管場所にもご配慮ください。

# USBメモリーの使いかた

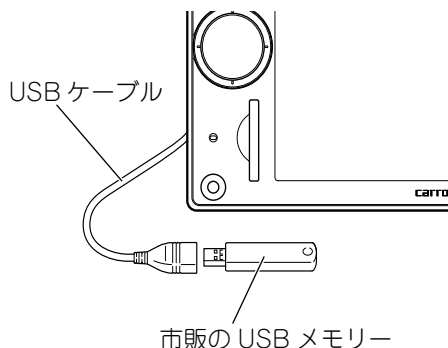
本機は、USBメモリー内の音楽ファイルや映像ファイルを再生できます。以下のようにご利用ください。

## メモ

- USBメモリー内の映像ファイルを再生中に、AVソース画面から地図画面やその他の画面に切り換えると、AVソースは一時的に停止状態となりますが、故障ではありません。

## USBメモリーの接続のしかた

### 1 USBケーブルに市販のUSBメモリーを接続する



## メモ

- 音楽データや映像データが保存されたUSBメモリーを本機に接続すると、自動的にAVソースが「USB」になり、音楽データまたは映像データが再生されます。

## USBメモリーの取り外しかた

### ① 注意

- 必ずAVソースをOFF (→P40) にしてからUSBメモリーの取り外しを行ってください。USBメモリーに保存したデータが損傷することがあります。

### 1 USBケーブルからUSBメモリーを取り外す



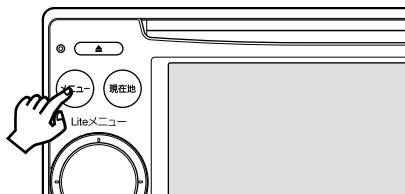
# 携帯電話の使いかた

本機に、Bluetooth 対応の携帯電話を Bluetooth 接続すると、ハンズフリー通話や通信機能が利用できます。

携帯電話のご利用には、あらかじめ通信接続設定 (→ P45) が必要です。

## 電話のかけかた

**1** を押す



**2** **携帯電話** にタッチする



**3** 電話をかける方法を選んでタッチする



### メモ

- メモリダイヤルの読み込み・呼び出しなど、詳しい操作方法は『ナビゲーション&オーディオブック』-「携帯電話を使う」をご覧ください。

## 電話の受けかた

**1** 電話を着信したら にタッチする



着信を拒否します。

通話中画面が表示されます。



**キー入力** 留守番電話再生時など、番号入力を求められた場合に使います。

**ハンズフリー ON/OFF** ハンズフリー通話の ON/OFF を切り換えます。

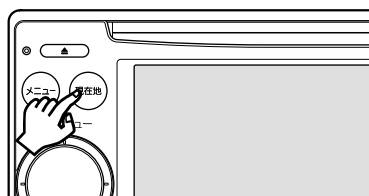
通話を終了します。

# ナビゲーションのおもな操作

## 現在地画面の表示のしかた

自分の車が今いる場所を中心とした地図画面のことを「現在地画面」と言います。現在地以外の地図を表示している場合やメニュー画面、AVソース画面を表示している場合に、かんたんに現在地画面に戻すことができます。

### 1 現在地を押す



現在地画面では、自分の車の現在地と進行方向を示す自車マークが表示されます。



### メモ

・5km/h以下の低速走行中は、自車マークが実際の現在地や進行方向とずれる（異なる）場合があります。

## 地図の動かしかた

地図画面にタッチすると、タッチした場所が中心となるように地図が動き、中心部には十字カーソルが表示されます。この画面のことを「スクロール画面」と言います。

### 1 地図上の見たい場所や見たい方向にタッチする



### メモ

- ・画面にタッチしたまま指を動かし、地図を動かすこともできます（十字カーソルから離れた場所にタッチするほど、地図の動く速度が速くなります）。ただし、走行中はタッチした場所までしか動きません。
- ・いったん地図を動かすと**微調整**が表示され、タッチすると8方向矢印を使って地図を少しずつ動かすこともできます。ただし、走行中は操作できません。（→『ナビゲーション&オーディオブック』－「基本操作」）

## 地図の向きや表示方法の 変えかた

ナビゲーションに表示される地図は、自車マークに対しての向きや表示のしかたを変換することができます。

### 1 方位マーク (↑ または N) にタッチする

タッチするごとに、以下の順に切り換わります。

#### ノーマルビュー (ヘディングアップ)

車の進行方向が常に上になるように地図が自動的に回転します。工場出荷時の設定です。



#### ノーマルビュー (ノースアップ)

北が常に上になるように表示されます。



スカイビュー (ヘディングアップ固定)  
上空から見ているような地図が表示されます。



#### ハイウェイモード

有料道路走行時のみ切り換えることができる専用画面です。



#### メモ

- ハイウェイモードについて、詳しくは (→ P32) をご覧ください。

ノーマルビュー (ヘディングアップ) に戻る

## 地図スケール（縮尺）の 変えかた

地図のスケール（縮尺）は50m～500kmの範囲で変えることができます。

### 1 スケールタッチキーに タッチする



### 2 広域または詳細に タッチする



<b>広域</b>	地図をより広い範囲で表示します。
<b>詳細</b>	地図をより詳しく表示します。

## ショートカットメニューの 表示のしかた

現在地画面や場所を探したあとは、ショートカットメニューを使ってルート探索や場所の登録、詳細情報の表示などを行うことができます。

### 1 現在地画面またはスクロール画面で ショートカットメニューにタッチする



現在地画面でのショートカットメニュー



<b>ルート編集</b>	ルート案内中に、ルートの確認や変更などが行えます。
<b>ここを登録する</b>	現在地を本機に登録できます。
<b>周辺施設で探す</b>	ガソリンスタンドや駅など探したい施設を、現在地周辺またはルート周辺から探せます。
<b>別道路切换</b>	一般道路と有料道路が並行している場所を走行中、自車マークが実際と異なる種別の道路に乗ってしまった場合に、正しい道路種別に切り換えることができます。
<b>マップクリップ</b>	現在地を2次元バーコード（QRコード）として携帯電話で読み取ることができます。

## スクロール画面でのショートカットメニュー



<b>ここへ行く</b>	スクロール位置までのルート探索が行えます。
<b>ここを登録する</b>	スクロール位置を本機に登録することができます。
<b>周辺施設で探す</b>	ガソリンスタンドや駅など探したい施設を、スクロール位置周辺から探せます。
<b>詳細情報を見る</b>	スクロール位置の名称や住所、電話番号などの情報を見ることができます。
<b>マップクリップ</b>	スクロール位置を2次元バーコード (QRコード) として携帯電話で読み取ることができます。

**メモ**

- ・ショートカットメニューを閉じるには、**戻る** または にタッチします。

## 渋滞情報の利用のしかた

渋滞情報メニューを表示して、VICSの図形情報や文字情報を表示して確認することができます。

## 1 渋滞にタッチする



<b>図形情報</b>	かんたんな地図イラストなどで道路交通情報が表示されます。
<b>文字情報</b>	文字で道路交通情報が表示されます。
<b>センター情報</b>	VICSセンターからの情報を表示します。

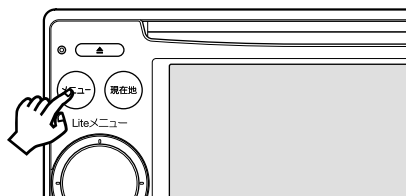
**メモ**

- ・渋滞情報メニューの詳しい使いかたは『ナビゲーション&オーディオブック』-「渋滞情報を取得して利用する」をご覧ください。
- ・通信機能を使って渋滞情報を取得することもできます。詳しくは「スマートループの利用のしかた」(→P44)または『ナビゲーション&オーディオブック』-「渋滞情報を取得して利用する」をご覧ください。

## 自宅の登録のしかた

本機に自宅の場所を登録しておく、ドライブ先から自宅へ帰るときなどにかんたんな操作で案内させることができます。

### 1 自宅に車を停めて、メニューを押す



### 2 お出かけにタッチする



### 3 自宅にタッチする



自宅登録の確認画面が表示されます。

### 4 はいにタッチする



自宅が登録されます。

#### メモ

- 自宅以外の場所で登録操作を行う場合は、地図に自宅の場所を正確に表示させてから行ってください。(→『ナビゲーション&オーディオブック』-「場所を探す操作」)
- 引っ越しなどで自宅の場所が変わった場合は、登録済みの自宅を削除し、もう一度登録し直してください。(→『ナビゲーション&オーディオブック』-「場所の登録や各種編集を行う」)
- 自宅登録後は、**自宅**にタッチすると自宅までのルートを探します。**案内開始**にタッチすると、ルート案内を開始します。
- 自宅の登録やルート案内は、Liteメニュー(→P36)の**お帰り**にタッチして行うこともできます。

# 地図画面の見かた

ナビゲーションに表示される地図上には、表示している画面に応じてさまざまな情報が表示されます。

## 現在地画面の見かた

現在地画面では、車の走行に合わせて自動的に地図が動きます。



S：スマートループ渋滞情報提供時刻表示<sup>\*1</sup>      現在地情報表示      現在の時刻  
 O：オンデマンド VICS 渋滞情報提供時刻表示<sup>\*1</sup>  
 F：VICS レベル 3 情報提供時刻表示<sup>\*2</sup>

### メモ

- 本機では、現在の時刻に連動して昼と夜で地図画面の配色を変えて表示します。画面表示の設定は変更することができます。→『ナビゲーション&オーディオブック』－「設定や調整をする」  
 また、昼・夜の時間に関係なく車のスマール灯を ON/OFF することで、自動的に画面の明るさを調整します。
  - 自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。
  - 軌跡表示は、今までに通った約 2000km 分の走行軌跡が表示できます。軌跡表示は削除したり表示しないように設定することができます。→『ナビゲーション&オーディオブック』－「設定や調整をする」
  - 現在地情報表示は、地図スケール表示が 50m のときは市区町村名、100m～10km のときは都道府県名と市区町村名が表示されます。20km 以上のときは都道府県名が表示されます。場所によっては表示されないところもあります。
  - 現在の時刻は、GPS 衛星からの情報に基づいて表示しています。時刻の変更はできません。
- <sup>\*1</sup> スマートループ (S) とオンデマンド VICS (O) の情報提供時刻表示は、現在取得しているどちらかの情報のみが表示されます。
- <sup>\*2</sup> VICS 情報には、以下の 3 種類の表示形態があります。  
 詳しくは、『ナビゲーション&オーディオブック』－「渋滞情報を取得して利用する」をご覧ください。  
 レベル 1：文字で道路交通情報が表示されます。  
 レベル 2：かんたんな地図イラストなどで道路交通情報が表示されます。  
 レベル 3：ナビゲーションの地図上に道路交通情報が直接表示されます。

## スクロール画面の見かた

現在地から十字カーソル位置  
までの直線距離

現在地の方向

十字カーソル位置と現在地を結び  
ピンク色の直線で表示されます。

十字カーソル  
画面の中心に表示  
されます。



十字カーソル位置の地名  
十字カーソル位置周辺の地名を示します。

## 有料道路走行中画面の見かた

出口施設情報（ルート案内中）

出口施設までの残り距離と所要時間が表示されます。

現在地表示(サイドマップ)

目的地までの残り距離と到着予想時刻  
(ルート案内中)

ETC レーン案内  
ETC 車載器の有無にか  
かわらず表示されます。



一番近い有料道路施設情報

施設送りタッチキー

有料道路施設を順番に送っていきます。

二番目に近い有料道路施設情報



メモ

- ETC レーン案内の表示は、ON/OFF することができます。詳しくは『ナビゲーション&オーディオブック』-「設定や調整をする」をご覧ください。



## ルート案内中画面の見かた

目的地までの残り距離と  
到着予想時刻

### ルート

設定したルートは、一般道が明るい緑色（細街路がピンク色、有料道路は明るい青色）で表示されます。

### 目的地の方向

現在地と目的地を結ぶピンク色の直線で表示されます。



### ルートインフォメーション

1つ先の案内地点までの距離、進行方向、交差点名称（交差点名称のデータが無い場合は、「案内地」が表示されます）。

方面看板表示

交差点を通過すると  
現在地画面に戻ります。

### 現在地画面



交差点に近づくと  
交差点案内画面に切り換わります。

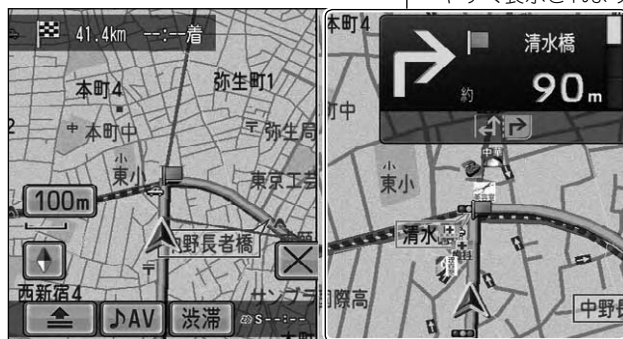
### 交差点案内画面

### レーン案内表示

レーンごとの進行方向が表示されます。誘導レーンは、緑色（推奨レーンは明るい緑色）で表示されます。

### 交差点拡大図

曲がる方向や距離などがわかりやすく表示されます。



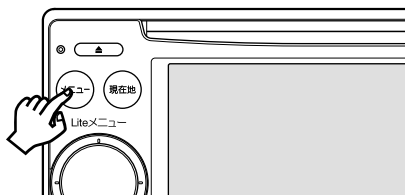
### メモ

- GPS が受信できない状況、あるいは自車位置がルート上に無い場合は、到着予想時刻は「--:--」になります。
- 交差点拡大図表示中は、☒が表示され、タッチすると交差点拡大図を消すことができます。非表示中に☑にタッチすると、交差点拡大図を再表示することができます。
- 交差点案内画面の表示は、ON/OFF することができます。詳しくは『ナビゲーション&オーディオブック』 - 『設定や調整をする』をご覧ください。

# お出かけメニューの使いかた

本機は、住所や電話番号などさまざまな情報から場所を探すことができます。本書では例として、「ジャンル」から成田国際空港を探す方法を説明します。

## 1 メニューを押す



## 2 お出かけにタッチする



## 3 ジャンルにタッチする



## 4 交通機関にタッチする



## 5 空港にタッチする



## 6 たー千葉県



## 7 成田国際空港にタッチする



成田国際空港の場所が画面右側に表示され、現在地からの距離が表示されます。

成田国際空港までのルートが探索されます。**案内開始**にタッチすると、ルート案内を開始します。



メモ

- お出かけメニューのより詳しい使いかたについては『ナビゲーション&オーディオブック』—「場所を探す操作」をご覧ください。

## 8 決定にタッチする



**詳細** 選んだ目的地に詳細情報がある場合は、画面右側に表示されます。詳細情報表示中は、**地図**が表示され、タッチすると画面右側を地図画面に戻します。

## 9 ここへ行くにタッチする

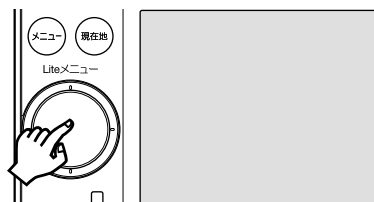


# Liteメニューの使いかた

Liteメニューを使うと、仕事や通勤でよく行く場所や自車周辺のお買い物スポット、食事場所など、普段の生活に必要な場所をかんたんに探すことができます。

## Liteメニューの表示のしかた

### 1 ロータリーボリューム & セレクターを押す



Liteメニューが表示されます。



### メモ

- ガスタ価格**にタッチすると、通信機能を使ってガソリンの価格情報を取得し、現在地またはスクロール位置から近い順にリスト表示します。リストに表示されるガソリン種別を切り換えることもできます。また、専用サーバーへ情報が保持されてからの経過時間に応じて価格情報を色で区別しています。
  - 橙色：24時間以内
  - 青色：7日以内
  - 黒色：8日以上
- 「ガスタ価格」は、データが取得できていないときには、情報表示されません。
- 「ガスタ価格」は、個人からの口コミによる情報のため、情報内容に関する保証は行いません。
- 駐車場満空**にタッチすると、通信機能を使って駐車場利用状況の情報を取得し、現在地またはスクロール位置付近で、駐車可能なコインパーキングをリスト表示します。駐車が可能かどうかは、車両情報設定(→「ナビゲーション&オーディオブック」)により判断されます。
  - ガスタ価格**および**駐車場満空**は、本機に通信機器が接続され通信可能な状態になっていない場合は、利用できません。詳しくは(「ナビゲーション&オーディオブック」-「設定や調整をする」)をご覧ください。

## 「よく行く場所」の使いかた

普段の生活でよく行く場所を登録しておく、かんたんな操作でその場所まで案内します。

### 1 よく行く場所にタッチする



### 2 リストから目的地を選んで決定にタッチする



### 3 ここへ行くにタッチする



選んだ場所までのルートが探索されます。**案内開始**にタッチすると、ルート案内を開始します。

## メモ

- あらかじめよく行く場所が登録されている必要があります。**未登録**→**決定**にタッチすると、場所を探す方法を選ぶ画面が表示され、よく行く場所を探して登録することができます。
- よく行く場所は、5件まで登録することができます。詳しくは『ナビゲーション&オーディオブック』—「場所の登録や各種編集を行う」をご覧ください。

## 「ショッピング」、「グルメ」の使いかた

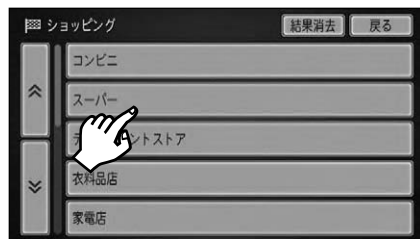
お買い物やお食事がしたいときに、かんたんな操作で案内します。

### 1 ショッピングまたはグルメにタッチする



### 2 お店のジャンルを選んでタッチする

例：ショッピングを選んだ場合



次ページへ➡

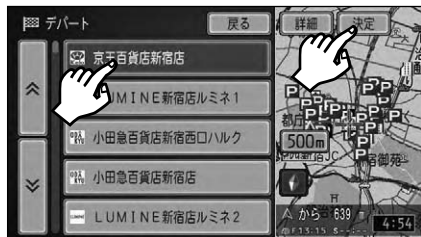
### 3 全選択または詳細選択にタッチする



**全選択** 選んだジャンルに含まれるすべてのお店を、現在地またはスクロール位置から近い順にリスト表示します。

**詳細選択** 選んだジャンルに含まれるお店をさらに絞り込んで指定することができます。

### 4 リストからお店を選んで決定タッチする



### 5 ここへ行くにタッチする



選んだお店までのルートが探索されます。**案内開始**にタッチすると、ルート案内を開始します。

### 「お帰り」の使いかた

あらかじめ自宅の登録 (→P30) さえ行っておけば、全国どこへ出かけていてもかんたんな操作で自宅まで案内します。

### 1 お帰りにタッチする



自宅までのルート探索が開始されます。**案内開始**にタッチすると、ルート案内を開始します。

### メモ

- 自宅が登録されていない場合は、現在地画面またはスクロール画面に戻り、その場所を自宅として登録するかどうかメッセージが表示されます。登録する場合は**はい**、場所を設定しない場合は**いいえ**にタッチしてください。
- すでに別の目的地が設定されている場合は、目的地を自宅に変更するかどうかのメッセージが表示されます。**はい**にタッチすると、目的地を自宅に変更し、ルート探索が開始されます。

# オーディオのおもな操作

## AV ソース画面の表示のしかた

CD などの再生画面や DVD などの映像画面のことを「AV ソース画面」と言います。地図画面を表示している場合に、かんたんに AV ソース画面に切り換えることができます。

### 1 AV にタッチする



#### メモ

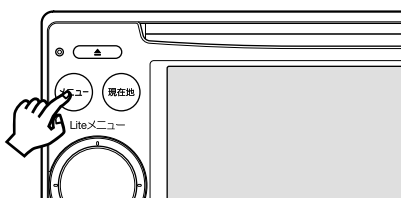
- 地図画面に戻すには、**ナビ**にタッチするか **(戻る)** を押します。
- メニュー画面などを表示している場合は、いったん地図画面に戻して (→ P26) から操作するか、メインメニューから AV ソースメニューを表示して AV ソースを選んでください。(→ P39)
- AV ソース画面の操作のしかたは、『ナビゲーション&オーディオブック』をご覧ください。

## AV ソースの選びかた

CD や DVD など、本機の持つオーディオ・映像機能のことを「AV ソース」と言います。AV ソースの選びかたは、メインメニューから操作する方法と、AV ソース画面左上に表示されるソースアイコンから操作する方法があります。どちらの場合でも、AV ソースメニューが表示されます。

### メインメニューから操作する場合

#### 1 **(メニュー)** を押す



#### 2 AV にタッチする



AV ソースメニューが表示されます。

次ページへ➡

### 3 お好みの AV ソースにタッチする



選んだ AV ソースに切り換わります。

#### メモ

- 接続されていない機器や未設定の AV ソースは選べません。

### AV ソース画面から操作する場合

#### 1 ソースアイコンにタッチする



#### 2 お好みの AV ソースにタッチする



選んだ AV ソースに切り換わります。

#### メモ

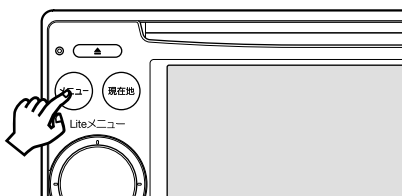
- 接続されていない機器や未設定の AV ソースは選べません。

## AV ソースの OFF のしかた

AV ソースの再生をやめたいときは、AV ソースを OFF にします。

AV ソースを OFF にしなくても、一時的に再生を停止できる AV ソースもあります。詳しくは『ナビゲーション&オーディオブック』をご覧ください。

#### 1 〇メニューを押す



#### 2 AV ソース OFF にタッチする



AV ソースが OFF になります。

#### メモ

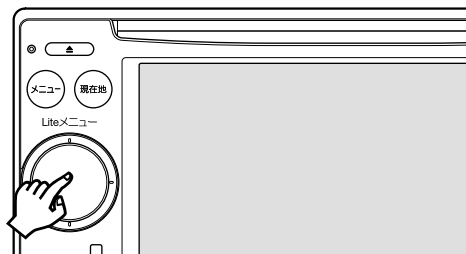
- AV ソースメニューの **AV ソース OFF** にタッチして、AV ソースを OFF にすることもできます。



## ロータリーボリューム&セレクターの使いかた

AVソースの操作は、ロータリーボリューム&セレクターを使って行うこともできます。

### 1 ロータリーボリューム&セレクターを操作する



▼  
 選択中の AV ソースに応じて以下のように動作します。

AV ソース	左右に倒す	左右に長く倒す	上下に倒す
CD	トラックダウン/アップ	早戻し/早送り	—
ROM	トラックダウン/アップ	早戻し/早送り	フォルダアップ/ダウン
DVD-V/DVD-VR	チャプターダウン/アップ	早戻し/早送り	タイトルアップ/ダウン
DivX	ファイルダウン/アップ	早戻し/早送り	フォルダアップ/ダウン
FM/AM	周波数ダウン/アップ	選局 (SEEK)	プリセットチャンネル アップ/ダウン
ワンセグ	3桁チャンネルダウン/アップ	選局 (SEEK)	—
iPod	チャプターまたはトラック ダウン/アップ	早戻し/早送り	—
USB	トラックダウン/アップ	早戻し/早送り	フォルダアップ/ダウン
SD	トラックダウン/アップ	早戻し/早送り	フォルダアップ/ダウン
地上デジタル TV	3桁チャンネルダウン/アップ	選局 (SEEK)	プリセットチャンネル アップ/ダウン
交通情報	選局 (1620MHz ⇄ 1629MHz)	—	—
AV1/AV2	—	—	—
EXT1/EXT2	接続機器により異なる	—	接続機器により異なる

#### メモ

- DVD-V、DVD-VR、DivX、iPod ビデオ再生中は、左右に約5秒以上倒し続けると、ロータリーボリューム&セレクターから指を離しても早戻し/早送り状態のままになります。もう一度左右どちらかに倒すと通常再生に戻ります。
- FM/AM 受信中は、左右に倒し続けている間、連続で周波数を送ります。(NON STOP SEEK)
- USB メモリーまたは SD メモリーカード内の音楽ファイルを再生中は、再生開始3秒以内に左に倒すと、現在再生中の曲の頭出しを行います。

## 操作タッチキーの表示のしかた

音楽系 AV ソース (CD など) を再生すると自動的に操作タッチキーが表示されますが、映像系の AV ソース (DVD やワンセグなど) の場合は、はじめに映像のみ表示されるため、操作タッチキーの表示は手動で行います。

### 1 映像系の AV ソースに切り換える

### 2 画面にタッチする



操作タッチキーが表示されます。



#### メモ

- ワンセグ以外の映像系 AV ソースでは、**ビュー** にタッチすると、操作タッチキーを消すことができます。
- ワンセグと地上デジタル TV では、約 10 秒間何も操作しないと、操作タッチキーは消えます。ワンセグと地上デジタル TV 以外の映像系 AV ソースでは、約 30 秒間何も操作しないと操作タッチキーは消えます。

## ファンクションメニューの使いかた

それぞれの AV ソースには、専用のメニューが用意されています。いろいろな再生方法の選択や設定を行うことができます。ここでは、音楽 CD 再生時の操作を例に説明します。詳しい説明は『ナビゲーション&オーディオブック』をご覧ください。

### 1 音楽 CD を挿入するか DISC ソースに切り換える

### 2 設定 にタッチする



### 3 実行したい機能のタッチキーにタッチする



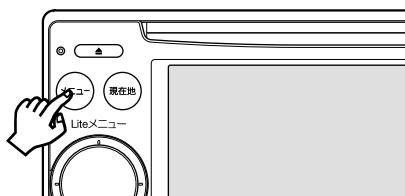
<b>リピート</b>	同じ曲や CD を繰り返し再生します。
<b>ランダム</b>	リピートで指定した範囲内の曲を順不同に再生します。
<b>スキャン</b>	リピートで指定した範囲内の曲の出だしの数秒間を次々に再生します。聴きたい曲を探すときなどに設定すると便利です。

## 音質設定のしかた

本機には、AV ソース再生時の音質をお好みに合わせて設定できるメニューが用意されています。

各設定項目の詳しい説明は『ナビゲーション&オーディオブック』-「設定や調整をする」をご覧ください。

### 1 を押す



### 2 **設定・編集** にタッチする



### 3 **AV 設定** にタッチする



## 4 設定したい項目にタッチする



**フェーダー/バランス設定** 前後左右の音量バランスを設定できます。

**イコライザー設定** あらかじめ用意された音響調整値（イコライザーカーブ）を使用したり、お好みに調整値を変更できます。

**ラウドネス設定** 小さな音量で聴いているときに、低・高音の不足感を補正し、メリハリのある音に設定できます。

**サブウーファー設定** サブウーファーを接続した場合に、細かな調整値を設定できます。

**ハイパスフィルター設定** サブウーファー以外のスピーカーから一定の周波数から下の音域（低音）を出力しないように設定できます。サブウーファー接続時に設定すると、サブウーファーとの音のつながりを自然なものにできます。

**ソースレベルアジャスター設定** AV ソースを切り換えた際に、音量の大きさに違いが出ないように、FM の音量を基準にして各 AV ソースの音量の差をそろえるよう設定できます。

**バスブースター設定** 低音の大きさを強めるよう設定できます。

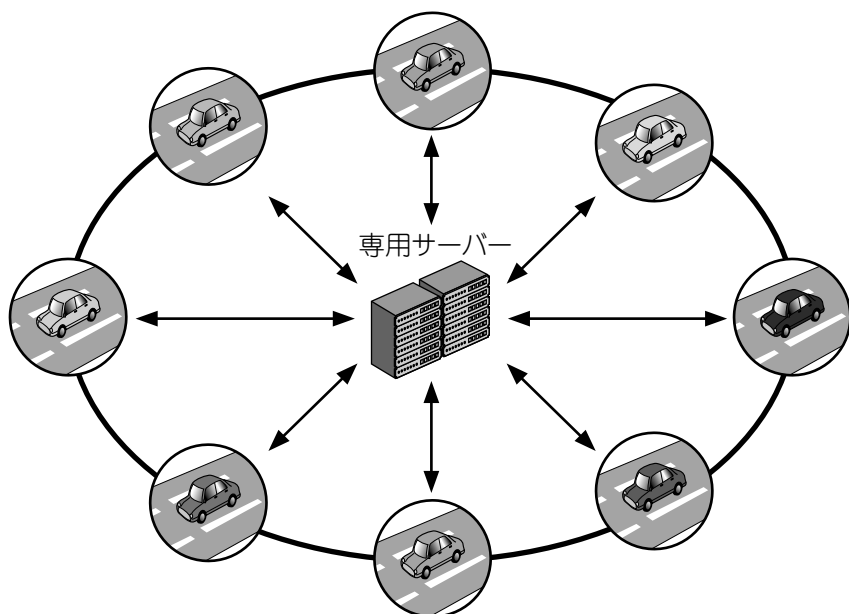
**その他設定** 本機に接続された機器の設定や映像系 AV ソースの画面設定などができます。

# スマートループの利用のしかた

## スマートループについて

「スマートループ」とは、ご利用登録していただいたお客様からご提供いただく走行履歴データや地点データなどを専用サーバーで蓄積管理し、カロッツェリア独自のデータを加えてスマートループ参加ユーザーへ配信する情報共有システムです。

「スマートループ渋滞情報」として取得できる情報は、VICS の情報（渋滞、規制、駐車場、SA/PA 情報）と、リアルタイムプローブサーバーからのプローブ渋滞情報（現況渋滞情報・過去3カ月の走行履歴から生成した渋滞情報）で、ルート探索、到着予想時間などに反映することができます。



全国のスマートループ参加ユーザー

## スマートループを利用するには

スマートループをご利用いただくために必要なステップを説明します。

### ステップ

インターネットに接続可能なパソコンで下記 URL にアクセスしてお客様登録をする

<http://pioneer.jp/support/members/>

### ステップ

Bluetooth 対応の携帯電話を用意し、通信接続設定をする (→ P45)

### ステップ

機能設定をする (→ P48)

### ステップ

初期登録をする (→ P49)

### ステップ

スマートループの情報を取得する (→ P50)



#### メモ

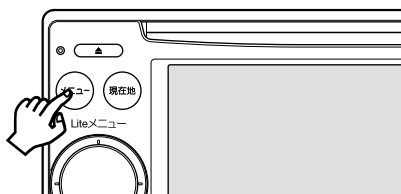
- Bluetooth に対応した携帯電話の場合でも、機種によっては本機との接続に制限がある場合があります。詳しくは「本機と接続可能な通信機器について」(→ P9) をご覧ください。
- お客様登録を行っていない場合、本機から通信で取得可能な情報は、オンデマンド VICS 情報のみとなります。詳しくは『ナビゲーション&オーディオブック』- 「渋滞情報を取得して利用する」をご覧ください。

## 通信接続設定のしかた

通信に使う携帯電話を本機に登録します。あらかじめお使いになる携帯電話のBluetooth機能をONにしてください。

携帯電話に関する操作方法は、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

### 1 メニューを押す



### 2 設定・編集にタッチする



### 3 通信接続設定にタッチする



次ページへ→

## 4 携帯電話登録 にタッチする



▼  
周辺の Bluetooth 機器を自動的に探し、Bluetooth 機器が見つかったらリスト表示されます。

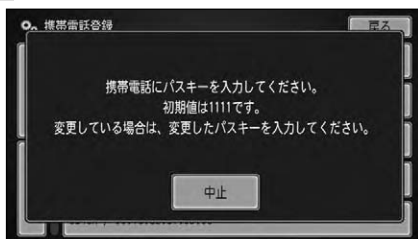
## 5 登録する携帯電話にタッチする



### メモ

- お使いの携帯電話によっては、本機からの検索で見つからない場合があります。その場合は、リストの一番上に表示される**携帯電話から登録する** にタッチして、携帯電話の登録メニューから登録してください。
- 本機のデバイス名の初期値は、「RAKU NAVI Lite」です。

## 6 携帯電話を操作してパスキーを入力する



### メモ

- パスキーの初期値は「1111」です。
- 携帯電話に本機を登録（機器登録・機器認証）する方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

## 7 入力完了 にタッチする



### メモ

- デバイス名（本機に表示される携帯電話の名前）を変更したい場合は、変更する名前を入力し、**入力完了** にタッチしてください。文字の入力方法は、『ナビゲーション&オーディオブック』をご覧ください。
- 同じ機種を複数登録する場合は、所有者名などを付け加えると誰の登録であるかがわかりやすくなります。

▼  
手順 4 の画面に戻ります。

続いて、通信を行う際のプロバイダを設定します。

## 8 接続先設定 にタッチする



## 11 プロバイダリスト にタッチする



## 9 設定 にタッチする



## 12 登録した携帯電話のタイプに合わせたプロバイダにタッチする



## 10 接続先1 または 接続先2 にタッチする



### メモ

- ご希望のプロバイダがプロバイダリストにない場合や、プロバイダの設定値が変更された場合は、手順 11 で **マニュアル** にタッチして手動で設定してください。詳しくは『ナビゲーション&オーディオブック』-「設定や調整をする」-「通信接続設定」をご覧ください。

## 13 終了タッチする

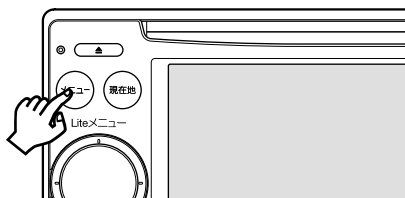


## 機能設定のしかた

プローブ情報の送信設定、情報取得の開始設定、連続受信の設定を行います。

プローブ情報とは、車両を通じて収集される位置・時刻・路面状況等のデータです。スマートループでは、より正確な渋滞情報を得るために、お客様からプローブ情報のご提供をいただいております。

### 1 を押す



### 2 **設定・編集** にタッチする



### 3 **ナビ設定** にタッチする



### 4 **機能設定** にタッチする



### 5 **プローブ情報送信設定** ON にタッチする



**ON** 渋滞情報の受信時に、プローブ情報を送信します。

**OFF** スマートループの情報は取得できません。

### 6 **渋滞情報取得開始設定** オートまたはマニュアルにタッチする



**オート** 本機が携帯電話との接続を確認した時点で、情報の取得を行います。

**マニュアル** 地図画面で**渋滞**に長くタッチするか、**渋滞情報取得**にタッチすると、情報の取得を行います。



## 7 渋滞情報連続取得設定 ON または OFF にタッチする

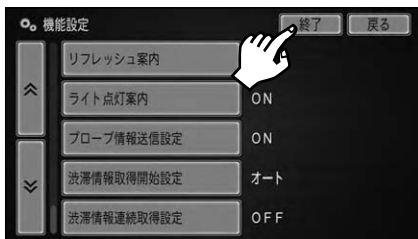


**ON** 情報の取得を一定間隔で行います。  
**OFF** 連続取得を行いません。

### メモ

- 連続取得設定が ON の場合、ルート案内中は 10 分間隔、それ以外は 20 分間隔でプローブ情報の送信および受信を行います。

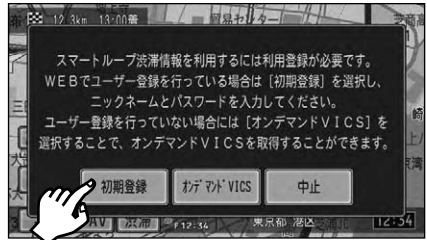
## 8 終了 にタッチする



## 初期登録のしかた

本機の情報専用サーバーへ登録します。

### 1 渋滞に 2 秒以上タッチし、初期登録 にタッチする



<b>オンデマンド VICS</b>	オンデマンド VICS 情報の取得のみを行います。
<b>中止</b>	通信による渋滞情報の取得を中止します。

### 2 ニックネームとパスワードを入力し、入力完了 にタッチする



初期登録完了のメッセージが表示され、現在地画面に戻ります。

### メモ

- 弊社ホームページからお客登録を行った際に設定したニックネームとパスワードを入力してください。
- ニックネームとパスワードの入力は、スマートループの利用期間が終了した場合など、もう一度入力が必要となる場合があります。

## スマートループ情報の取得のしかた

### 1 渋滞に2秒以上タッチする



専用サーバーに接続し、スマートループ渋滞情報を取得します。



#### メモ

- **渋滞情報取得**にタッチして、スマートループ渋滞情報を取得することもできます。
- 情報の取得が完了すると、自動的に通信の接続は切れます。
- 現在地付近以外の情報を取得したい場合は、情報を取得したい場所の地図を表示させてから操作してください。
- 「渋滞情報取得開始設定」を「オート」に設定しておく、本機が携帯電話の接続を確認した時点で自動的に情報を取得し、ルート案内に反映することができます。

# 取り扱い上のご注意

## 液晶画面の正しい使いかた

### 取り扱い上のご注意

- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障が出る場合があります。
- 液晶画面は指定温度範囲内でお使いください。(→ P58)
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。



- 液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。

### 液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出る場合があります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。
- 周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。

### LED バックライトについて

- 真夏の炎天下や、エアコンの温風が直接モニター部に当たってモニター部が高温状態になると、LED 保護のため、自動的にバックライトの明るさを絞る場合があります。
- LED バックライトの寿命は 1 万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- LED バックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）にご連絡ください。

### お手入れについて

- 液晶画面に付いたホコリや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布でから拭きしてください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。液晶画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 濡れたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

## ディスクの正しい使いかた

### 取り扱い上のご注意

- 下記マークのついたディスクをご使用ください。  
DVD ビデオ



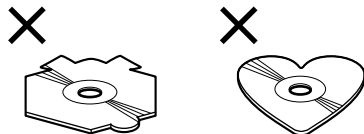
CD



- ひび、キズ、そりのあるディスクを使用しないでください。



- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



- ディスクを持つときは、記録面（虹色に光っている面）を触らないようにしてください。
- ディスクにキズを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。



### メモ

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。
- 再生できるディスクの種類やファイル形式などについては『ナビゲーション&オーディオブック』-「付録」をご覧ください。

### お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ向かって軽く拭いてください。

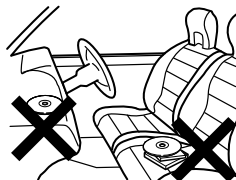


- ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などを使用しないでください。



### 保管上のご注意

- ディスクは、直射日光の当たるところや高温になるところに、保管しないでください。



- ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

### ディスク再生の環境について

- 走行中に振動でディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。
- 低温時、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部のレンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

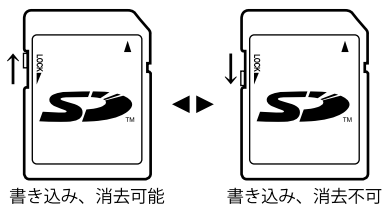
## SDカードの正しい使いかた

### 取り扱い上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。
- 曲げたり、衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。故障の原因になります。
- 濡れた手で触らないでください。故障の原因になります。
- 端子部を金属類や手で触らないでください。故障の原因になります。

### データの保護について

- バックアップされていない大切なデータなどが保存されているときは、ライトプロテクト（書き込み防止）スイッチをスライドしてLOCKしてください。



## USB機器に関するご注意

### 取り扱い上のご注意

- USB機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、USB機器は必ず固定してください。USB機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

### 接続上のご注意

- 接続するUSB機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- パーティションを作ったUSBメモリーは使用できません。
- 使用するUSB機器の種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲や映像を正しく再生できない場合があります。
- USBハブを使用しての接続には対応していません。
- USBメモリー以外（USB扇風機など）は接続しないでください。

## iPodに関するご注意

### 取り扱い上のご注意

- iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPodは必ず固定してください。iPodが落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

### 著作権について

- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

## 電波に関するご注意

● 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。

● 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- \* 分解 / 改造すること。
- \* 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

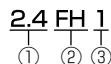
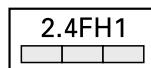
● 本機の無線機能は、2.4GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用していますので、電波の干渉により、本機の無線機能の音声がとぎれたり聞きとりにくくなることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。

- \* 無線 LAN を利用した AV 機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、声のとぎれたり、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。

● その他、下記の機器でも、2.4GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。

- \* 火災報知機・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
- \* 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
- \* マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー

- \* 自動ドア・万引き防止システム（書店や CD ショップなど）
- \* 自動制御機器・その他、Bluetooth® 対応機器や VICS（道路交通網システム）
- \* アマチュア無線局など



- ① 「2.4」 GHz 帯を使用する無線設備を表します。
- ② 「FH」 変調方式を表します。
- ③ 「1」 想定される与干渉距離（約 10m）を表します。

本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、パイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

# 故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、「保証書とアフターサービス」(→P57)をお読みになり修理を依頼してください。(本書では、製品共通の内容を記載しています。ナビゲーションやオーディオ固有の項目については、『ナビゲーション&オーディオブック』-「付録」-「故障かな？と思ったら」をご覧ください。)

## 電源が入らない、動作しない

原因	処置
ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。→『取付説明書』
ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。(→P13)

## 自車マークがずれる

原因	処置
GPS 衛星の電波を受信する前に走行を開始している。	GPS 衛星の電波を受信してから走行を開始してください。GPS 衛星の電波が受信できているかどうかは、方位マークの色(→P13)や GPS 情報画面(→『ナビゲーション&オーディオブック』)で確認することができます。しばらく待っても GPS 衛星の電波が受信できないときは、GPS アンテナの取り付け状態を確認してください。→『取付説明書』

## 映像が出ない

原因	処置
パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。→『取付説明書』
パーキングブレーキをかけていない。	

## オーディオの音が出ない

原因	処置
音量が0になっている。	音量を上げてください。
接続が間違っている。	接続を確認してください。→『取付説明書』

## ナビのガイド音声を調整できない

原因	処置
ロータリーボリューム&セレクターを操作している。	ナビの案内音量の調整は、ナビのメニューで調整します。(→P19)

## 液晶画面が暗い・見にくい

原因	処置
「明るさ」の調整が適切でない。	「明るさ」を調整してください。(→P20)



# 保証書とアフターサービス

## 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

## 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

## 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）にご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「サービス窓口のご案内」をご覧ください。

## 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

## 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

## ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

# 仕様

## ◆共通部

使用電圧：14.4V DC  
 (10.8～15.1V 使用可能)  
 アース方式：マイナスアース方式  
 最大消費電流：10A  
 使用温度範囲：-10℃～+60℃

## ◆ナビゲーション本体 (GPS 部)

受信方式：32 チャンネル  
 マルチチャンネル受信方式

## ◆オーディオ部

最大出力：50W × 4  
 負荷インピーダンス：4 Ω  
 (4～8 Ω 使用可能)  
 プリアウト (サブウーファー)  
 最大出力レベル：1.5V  
 映像入出力レベル  
 (VTR、リアモニター OUT)：1.0Vpp ± 10 %  
 (signal: White 100%)  
 外部音声最大入力レベル (AUX)：1.0Vrms 以下  
 イコライザー  
 (3 バンドパラメトリックイコライザー)  
 周波数：LOW 40/80/100/160 [Hz]  
 MID 200/500/1k/2k [Hz]  
 HI 3.15k/8k/10k/12.5k [Hz]  
 調整幅：± 12dB (2dB/step)  
 Q：4 段階  
 カットオフ周波数  
 ハイパスフィルター：50/63/80  
 /100/125 [Hz]  
 ローパスフィルター  
 (サブウーファー)：50/63/80  
 /100/125 [Hz]  
 カットオフスロープ  
 ハイパスフィルター：-12dB/oct.  
 ローパスフィルター：-18dB/oct.  
 サブウーファー位相：NOMAL/REVERSE  
 調整幅：-24dB～+6dB

## ◆DVD プレーヤーメカ部

リージョン No.：2  
 対応メディア：DVD (VIDEO MODE,  
 VR MODE)、DVD-R (DL)、  
 DVD-RW、CD-ROM、  
 CD-DA、CD-R/RW

### デコーディングフォーマット

MP3：MPEG-1,2,2.5 AUDIO LAYER-3  
 WMA：Windows Media Audio ver.9.0 L3  
 DivX：Home Theater ver.3.11.4.x.5.x.6  
 AAC：iTunes ver.4.6

### 周波数特性

DVD 値：16～22,000Hz (± 1dB)  
 CD 値：20～20,000Hz  
 (+0.1/-1.0dB)

### S/N

DVD 値：97dB(1kHz)(IHF-A ネットワーク)  
 CD 値：96dB(1kHz)(IHF-A ネットワーク)

### ダイナミックレンジ

DVD 値：95dB(1kHz)  
 CD 値：94dB(1kHz)

高調波歪率：0.008% (1kHz)

## ◆FM チューナー部

受信周波数帯域：76.0～90.0MHz  
 音声：ステレオ

## ◆AM チューナー部

受信周波数帯域：522～1 629kHz(9kHz)  
 音声：モノラル

## ◆ワンセグチューナー部

放送方式：地上デジタル放送方式 (日本)  
 受信チャンネル：470MHz～770MHz  
 (UHF13～62ch)  
 アンテナ入力：50 Ω × 1

## ◆モニター部

画面サイズ：5.8 型ワイド VGA  
 画素数：1 152 000 画素  
 [水平 800 X 垂直 480 X 3(RGB)]  
 方式：TFT アクティブマトリクス方式  
 バックライト：LED 光源

## ◆地上デジタル TV用フィルムアンテナ

使用電源：DC8V  
出力端子：専用プラグ× 1

## ◆SD メモリーカード部

フォーマット：Ver.2.0  
最大メモリ容量：8GB  
ファイルシステム：FAT16/FAT32  
デコーディングフォーマット  
MP3 : MPEG-1,2,2.5 AUDIO LAYER-3  
WMA : Windows Media Audio ver.7,8,9  
(2ch audio)

## ◆USB 部

対応メディア：USB2.0 High Speed  
最大電流：500mA  
最大メモリ容量：2GB  
ファイルシステム：FAT16/FAT32  
デコーディングフォーマット  
MP3 : MPEG-1,2,2.5 AUDIO LAYER-3  
WMA : Windows Media Audio ver.7,8,9  
(2ch audio)  
USB CLASS：MSC  
(MASS STORAGE CLASS)

## ◆Bluetooth 部

Bluetoothバージョン：Bluetooth1.2  
出力：+4dBm (Power class2)

## ◆外形寸法

本体（取付）寸法：178 (W) X 100 (H)  
X 157 (D) mm  
本体ノーズ寸法：171 (W) X 97 (H)  
X 8 (D) mm  
GPS アンテナ：33 (W) X 15 (H)  
X 36 (D) mm  
地上デジタル TV 用  
フィルムアンテナ：118 (W) X 102 (H)  
X 0.4 (D) mm

## ◆質量

本体：2.3kg

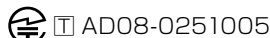
## ◆付属品

GPS アンテナ：1  
地上デジタル TV 用  
フィルムアンテナ(ワンセグ用)\*：1 式  
取付キット\*：1 式  
コード類\*：1 式  
ハンズフリー用マイク：1  
スタートブック：1  
ナビゲーション & オーディオブック：1  
取付説明書：1  
安全上のご注意：1  
サービス窓口のご案内：1  
保証書：1  
お客様登録カード：1

※ 詳細につきましては、『取付説明書』をご覧ください。

# 商標・著作権等

- 本製品は、電気通信事業法に基づく設計認証を取得しています。



- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



- 本製品は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。
- DivX® video を再生できます。
- DivX® は DivX, Inc. の登録商標であり、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。



- Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。



- MP3 とは「MPEG Audio Layer 3」の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送\*で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送\*で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。\* 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

- iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPod は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。



- VICS は、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。



- SD ロゴは、商標です。



- SDHC ロゴは、商標です。



- miniSD ロゴは、商標です。



- microSD ロゴは、商標です。



- Bluetooth ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG 所有であり、ライセンス取得者パイオニア株式会社のマーク使用は許可を得ています。その他のトレードマークおよびトレードネームは各所有者のものであります。



- DVD は DVD フォーマットロゴライセンシング(株)の商標です。
- 「マップクリップ」はインクリメント P (株) の登録商標です。
- QR コードは(株) デンソーウェブの登録商標です。
- この製品に含まれるブラウザの改変及び複製、この製品から分離させる行為は、行ってはいけません。
- 本ソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

- ナビゲーション部のインターネット機能は株式会社 ACCESS の NetFront を搭載しています。
- Copyright©1996-2001 ACCESS CO.,LTD

## 株式会社ACCESS NetFront®

- Portions of the software in this product are copyright 1996 - 2007 The FreeType Project ([www.freetype.org](http://www.freetype.org)). All rights reserved. Licensed under the FreeType Project LICENSE, 2006-Jan-27. (<http://www.freetype.org/FTL.TXT>)
- 本製品には、AGG 2.4 Licenses が適用されるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアを、以下の条件により使用しております。
- AGG 2.4 Licenses
- Anti-Grain Geometry Public License
- Anti-Grain Geometry - Version 2.4
- Copyright©2002-2004 Maxim Shemanarev (McSeem)
- Permission to copy, use, modify, sell and distribute this software is granted provided this copyright notice appears in all copies. This software is provided "as is" without express or implied warranty, and with no claim as to its suitability for any purpose.
- Modified BSD License
- Anti-Grain Geometry - Version 2.4
- Copyright©2002-2005 Maxim Shemanarev (McSeem)
- Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
  1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
  2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
  3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
- THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,

INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- 本製品で使用しているソフトウェアプログラムには、7-Zip ライブラリが含まれています。7-Zip は、GNU Lesser General Public License の条件にもとづいて利用が許諾されたソフトウェアを含んでいます。該当するソースコードの複製物は配布に必要な費用をご負担いただくことでご入手いただけます。複製物を入手するためには、弊社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。また、GNU Lesser General Public License の詳細については GNU のウェブサイトをご覧ください。(<http://www.gnu.org>)。

- 7-Zip
- License for use and distribution
- 7-Zip Copyright © 1999-2007 Igor Pavlov.

- Licenses for files are:
  - 1) 7z.dll: GNU LGPL + unRAR restriction
  - 2) All other files: GNU LGPL

- The GNU LGPL + unRAR restriction means that you must follow both GNU LGPL rules and unRAR restriction rules.
- Note:
  - You can use 7-Zip on any computer, including a computer in a commercial organization. You don't need to register or pay for 7-Zip.
  - GNU LGPL information
  - This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.
  - This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

- You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
  - unRAR restriction
  - The decompression engine for RAR archives was developed using source code of unRAR program.
  - All copyrights to original unRAR code are owned by Alexander Roshal.
  - The license for original unRAR code has the following restriction:
    - The unRAR sources cannot be used to re-create the RAR compression algorithm, which is proprietary. Distribution of modified unRAR sources in separate form or as a part of other software is permitted, provided that it is clearly stated in the documentation and source comments that the code may not be used to develop a RAR (WinRAR) compatible archiver.
  - GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
  - Version 3, 29 June 2007
  - Copyright © 2007 Free Software Foundation, Inc. <<http://fsf.org/>> Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.
  - This version of the GNU Lesser General Public License incorporates the terms and conditions of version 3 of the GNU General Public License, supplemented by the additional permissions listed below.
  - 0. Additional Definitions.
    - As used herein, "this License" refers to version 3 of the GNU Lesser General Public License, and the "GNU GPL" refers to version 3 of the GNU General Public License.
    - "The Library" refers to a covered work governed by this License, other than an Application or a Combined Work as defined below.
    - An "Application" is any work that makes use of an interface provided by the Library, but which is not otherwise based on the Library.
    - Defining a subclass of a class defined by the Library is deemed a mode of using an interface provided by the Library.
    - A "Combined Work" is a work produced by combining or linking an Application with the Library. The particular version of the Library with which the Combined Work was made is also called the "Linked Version".
    - The "Minimal Corresponding Source" for a Combined Work means the Corresponding
- Source for the Combined Work, excluding any source code for portions of the Combined Work that, considered in isolation, are based on the Application, and not on the Linked Version.
- The "Corresponding Application Code" for a Combined Work means the object code and/or source code for the Application, including any data and utility programs needed for reproducing the Combined Work from the Application, but excluding the System Libraries of the Combined Work.
1. Exception to Section 3 of the GNU GPL.
    - You may convey a covered work under sections 3 and 4 of this License without being bound by section 3 of the GNU GPL.
  2. Conveying Modified Versions.
    - If you modify a copy of the Library, and, in your modifications, a facility refers to a function or data to be supplied by an Application that uses the facility (other than as an argument passed when the facility is invoked), then you may convey a copy of the modified version:
      - a) under this License, provided that you make a good faith effort to ensure that, in the event an Application does not supply the function or data, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful, or
      - b) under the GNU GPL, with none of the additional permissions of this License applicable to that copy.
  3. Object Code Incorporating Material from Library Header Files.
    - The object code form of an Application may incorporate material from a header file that is part of the Library. You may convey such object code under terms of your choice, provided that, if the incorporated material is not limited to numerical parameters, data structure layouts and accessors, or small macros, inline functions and templates (ten or fewer lines in length), you do both of the following:
      - a) Give prominent notice with each copy of the object code that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License.
      - b) Accompany the object code with a copy of the GNU GPL and this license document.
  4. Combined Works.
    - You may convey a Combined Work under terms of your choice that, taken together, effectively do not restrict modification of the portions of the Library contained in the

Combined Work and reverse engineering for debugging such modifications, if you also do each of the following:

- a) Give prominent notice with each copy of the Combined Work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License.
  - b) Accompany the Combined Work with a copy of the GNU GPL and this license document.
  - c) For a Combined Work that displays copyright notices during execution, include the copyright notice for the Library among these notices, as well as a reference directing the user to the copies of the GNU GPL and this license document.
  - d) Do one of the following:
    - 0) Convey the Minimal Corresponding Source under the terms of this License, and the Corresponding Application Code in a form suitable for, and under terms that permit, the user to recombine or relink the Application with a modified version of the Linked Version to produce a modified Combined Work, in the manner specified by section 6 of the GNU GPL for conveying Corresponding Source.
    - 1) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (a) uses at run time a copy of the Library already present on the user's computer system, and (b) will operate properly with a modified version of the Library that is interface-compatible with the Linked Version.
  - e) Provide Installation Information, but only if you would otherwise be required to provide such information under section 6 of the GNU GPL, and only to the extent that such information is necessary to install and execute a modified version of the Combined Work produced by recombining or relinking the Application with a modified version of the Linked Version. (If you use option 4d0, the Installation Information must accompany the Minimal Corresponding Source and Corresponding Application Code. If you use option 4d1, you must provide the Installation Information in the manner specified by section 6 of the GNU GPL for conveying Corresponding Source.)
- 5. Combined Libraries.
- You may place library facilities that are a work based on the Library side by side in a single library together with other library facilities that are not Applications and are not covered by this License, and convey such a combined library under terms of your choice, if you do both of the following:
    - a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities, conveyed under the terms of this License.
    - b) Give prominent notice with the combined library that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
- 6. Revised Versions of the GNU Lesser General Public License.
- The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the GNU Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.
  - Each version is given a distinguishing version number. If the Library as you received it specifies that a certain numbered version of the GNU Lesser General Public License "or any later version" applies to it, you have the option of following the terms and conditions either of that published version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library as you received it does not specify a version number of the GNU Lesser General Public License, you may choose any version of the GNU Lesser General Public License ever published by the Free Software Foundation.
  - If the Library as you received it specifies that a proxy can decide whether future versions of the GNU Lesser General Public License shall apply, that proxy's public statement of acceptance of any version is permanent authorization for you to choose that version for the Library.
  - 本製品に収録されたデータおよびプログラムの著作権は、弊社および弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータおよびプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。
  - 弊社は、本製品に収録された地図データなどが完全・正確であること、および本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
  - 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用いただけません。
  - 本製品の仕様および外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、取扱説明書の内容と実物が異なることがあります。その場合における本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。
  - その他、製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる ☎ フリーコール および ☎ フリーダイヤル は、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。  
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

### ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

**商品についてのご相談窓口** ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

#### カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

##### ● カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話：☎ **0120-944-111** 【一般電話】 **03-5496-8016** FAX： **03-3490-5718**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

**カーナビゲーションの通信サービスやネットワーク接続（携帯電話、Bluetooth接続は除く）に関するご相談窓口**

#### パイオニアモバイルネットワークス株式会社

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜 9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：☎ **0120-702-383** 【一般電話】 **03-3495-9963**

### 修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな？と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

**修理についてのご相談窓口** ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

#### 修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

電話：☎ **0120-5-81028** 【一般電話】 **03-5496-2023** FAX：☎ **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair.html>

※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限りです

#### 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：【一般電話】 **098-879-1910** FAX： **098-879-1352**

**部品のご購入についてのご相談窓口** ● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

#### 部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜 9：30～12：00、13：00～18：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：☎ **0120-5-81095** 【一般電話】 **0538-43-1161** FAX：☎ **0120-5-81096**